

## VI 越冬日誌

石田恭市・蜂須賀弘久

2月	記	事	ブリ ザード
20	第10次越冬隊成立（1130第1ヘリポート）バー開店。		
21	日刊紙（810トピックス）発刊。		
22	食堂棟に連絡箱できる。給水車ポンプコック凍結。ゴミ捨て場指定。		
23	きょうから午後1時間基地清掃作業（3月5日まで）		
24	給水車ポンプ凍結。		
25	10居・食堂棟間の通路完成。建設作業本日でほぼ終了。太田男子出生の報入る。 オーロラ出現。（11次隊、冬の訓練 25日～28日）		
26	娯楽棟への配管工事。床屋営業開始。		
27	通信棟じゅうたん敷き。本格的オーロラ出現。		
28	2月生れ誕生祝（小倉）健康診断。写真電送（3枚）		

2月の気象	旬	平均気温	最高の極(日)	最低の極(日)	瞬間最大風速(日)	雪日数
	上旬	-1.1	+8.4 (5)	-5.6 (1)	22.0 (4)	6
	中旬	-1.3	+4.2 (17)	-6.1 (15)	17.8 (18)	1
	下旬	-2.7	+3.1 (28)	-8.5 (22)	19.4 (25)	3

3月1	2月月報送付。夜警始まる。コロナ出現。全天カメラ撮影開始。	
2	昭和基地見学会。日曜プランチ始まる。	
3	基地外調査活動始まる。10居にトイレ・下駄箱できる。	
4	洗濯機故障	
5	風呂桶交換工事。電話連絡（本部）。ソ連機飛来。	
6	懐中電灯配給。	
7	火災訓練。（ふじ55°S通過）	↑
8	檜風呂できる。夕食のフランス料理好評（ブイアベースと白ワイン） 本日より映画切れ目なし上映（映写機2台使用）	C
9	水汲み池にてスケート始まる。	↓
10	早朝突如の火災訓練で驚く。ブル・ホセ調教開始。	
11	雪氷セミナー開始（毎週1回）。前夜より大雪。9発雨漏り烈し。	
12	パン焼き炉完成。スキー初滑り。皇帝ペンギン冰縁に現わる。	↑
13	医学研究室整理終了。本日より物品請求は伝票による。	C
14	水汲みタンクにヒーターを取付け使用開始。 (ふじ、ケープタウン入港) 青木美香後援会発足。	↓
15	通信棟・送信棟間ケーブルの埋設工事。本日より超高層オーロラワッチに入る。	

3月	記事					ブリザード
16	パスポート等貴重品預り(庶務)					
17	電離棟副室工事始まる。安藤くちびる2針縫う。					
18	追加公電略号原案つくる。テレビ映画「赤い鈴蘭」好評。					
19	電離棟副室工事外装終了。電話連絡(本部)					
20	焼却炉設置。(ふじ、ケーブタウン出港)					
21	春分特別記念映画。祭日は休日にならず。					
22	基地内清掃週間始まる。(22日～28日) 「赤い鈴蘭」人気異常上昇。					
23	10居サロン完成祝。ハム開局準備始める。					
24	水汲み池一見晴らし岩間道路整備始める。					
25	農園ひらく。10居の小便ホース凍結。					↑ C ↓
26	水汲み池一見晴らし岩間道路完成。電離棟副室内部塗装。 水汲み池水深5.85cmとなる。					
27	みどり池への道路工事完成。海上積雪観測開始。通信原因不明のノイズになやむ。					
28	3月生れ誕生祝(徳田、浅野、井上、酒井)					↑ C ↓
29	水汲み池の水切り試みる。スキーを9居前に常備。					
30	ソフトボール大会(ベテラン組快勝)。ハム開局。					
31	水汲み第2ダムに切替え(水深5.0cm) オングル海峡に薄氷。					
3月の気象	旬	平均気温	最高の極(日)	最低の極(日)	瞬間最大風速(日)	雪日数
	上旬	-2.9	+1.5(1)	-8.7(4)	27.0(7)	5
	中旬	-4.5	-1.9(16)	-8.7(18)	25.3(16)	8
	下旬	-5.9	-2.7(30)	-10.2(30)	26.8(28)	5
4月	非常用物資をレーダーテレメーター室に搬入。3月月報送付。					
1	電離棟副室完成(除附帶工事)。電話連絡(本部)。魚釣り。					
2	天測訓練開始。車輛オーニング。卓球始まる。オングル海峡全面結氷(1.1～2.5cm)					
3	道路標識設置。					
4	道路のトラバース測量(ふじ、コロンボ入港)					
5	スケート盛ん。ブル最後の遠足(ネスオニア)					
6	「赤い鈴蘭」一挙上映の陳情書出る。浅野扁桃痛。					
7	電離棟暗室完成。気象談話会始める。(毎週1回)					
8	水汲み池へ発熱ヒーター投入実験。ブル不調。(ふじ、コロンボ出港)					
9	防寒チヨツキでかぶれる者出る。アルバム作成の動議である。					↑ C ↓
10	送信機故障沖吉苦労する。新生氷の厚さ(2.4～3.5cm)。					

4月	記事					ブリザード
12	45 KVA不調シヤックリ停電。電離層荒れ始める。(12日～15日) ブル死亡(告別式行なう)亨年7才9か月。水汲みは午後から始める。					C↑
13	デリンジャーで通信途絶。					C↓
14	野菜初出荷(はつか大根)バー大繁昌。					
15	医学研究室床リノリューム張り。「赤い鈴蘭」完結す。					
16	水汲みみどり池に変更。第3回防火訓練(現場到着20秒)雜音退治始まる。					
17	食堂用に変圧器増設。大型ブリにめげず水汲み強行(小倉横転2回) バーのつけまわる。					C↓
18	電離棟副室完成祝い。水汲み中止。					
19	オングル海峡再び開く。スノーペトレル30羽基地上空を舞う。 バード基地よりチエス試合の申込み。モーソン基地とのテレタイプ通信開始。					
20	新道開通記念マラソン大会(1位上田18分24秒)もやし初出荷。					
21	秋季身体精密検診(21日～26日)。7発にて出水騒ぎ。					
22	9居・10居の個室じゅうたん敷き。(内地でNHK特派員報告放映さる)					
23	内陸班大陸へ初上陸。見晴らし岩に標識灯つける。 初の凍傷患者あらわる。					
24	水汲み穴の氷割りに苦労する。スノーモビルピストンヘッドに穴あく。岩島・とっつき岬の氷厚 23～45cm。4月生れ誕生祝(石渡・安藤・沖吉・太田)。電話連絡(本部)					
25	気象用コルゲート通路作り始める(25日～5月5日) 街灯つけ。(ふじ東京帰港)					A↑
26	映画「海軍」三田佳子に湧く。					
27	内陸棟ファーネス過熱警報鳴る。マージャン大会(1位前田)。水汲み中止。					B↑
28	内陸班食糧準備。みどり池までの道路除雪。					
29	天皇誕生日の祝電来る(ソビエト・フランス)。					
30	農民車にスキー取付け(30日～5月8日)電話連絡(本部)。 本格的ブリザードとなる。					

4月の気象	旬	平均気温	最高の極(日)	最低の極(日)	瞬間最大風速(日)	雪日数
	上旬	-9.7	-5.7(1)	-15.9(7)	18.6(8)	5
	中旬	-4.7	-2.4(14)	-12.4(20)	33.0(17)	9
	下旬	-10.8	-6.7(27)	-17.4(23)	36.4(30)	8
5月	1	ブリ被害続出。外出禁止令出る。蛇口閉め忘れ水損失。(瞬間最大風速44m/sec)				
		11次隊発注物品についての連絡。(在京隊員留守家族会)				

5月	記 事	アリ チート
2	オングル海峡全面開く。暖房用燃料のサービスタンク取付終る。火災報知器誤操作。 水汲み9回(水深132cm 氷厚6.5cm) 4月月報送付。ペトrel現わる。	B
3	検潮所の海氷流失(北の瀬戸)。各所に塩害。アルバム委員きまる。	
4	銚子と臨時通信(連休のため)	
5	防災設備の見学会始まる。	
6	またもやブリザード来襲。(南極展西部デパートで開催6日~11日)	C
7	KD 607基地へ廻送(フロントガラス割れる)。電気ゾンデ電離棟ケーブルに引っかかる。 火災報知器誤操作。	
8	オングル海峡全域ほぼ結氷。通信ケーブル(かけ橋)のもつれを直す。	
9	西オングルピクニック。医学用テレメーター好調。 電話連絡(本部)。病床にあるベルギーの少女へ激励文。	
10	教養講座に関するアンケート配布。灯火管制。映画観賞の棧敷席争奪激烈化する。	
11	西オングルピクニック。	
12	65KVA2号機不調交換(12日~13日)	
13	早朝のコロナ雄大。10の小便ホース凍結(3回目) 美香ちゃんより「イツモナンキョクノチヲオモッティマス」	
14	隊員必携の電略再チェック(誤り多く発見)	
15	電離棟に天体望遠鏡設置。対銚子無線不通。	
16	10次隊用電文略完成。対銚子無線不通。バー改装(スタンド作り)始まる。	
17	第1回教養講座(テーブルマナー実技・夕食時)	
18	キャロム大会(1位石渡)	
19	農民車オングル海峡往復(海水厚30~39cm)	
20	朝食をとる者減り始める。	
21	内陸班カブース内生活訓練(21~23日)。気象ゾンデブリのため2回送電線に引っかかる。 (磯辺氏ふじ艦長に就任)	C
22	F○以南水面となる。	
23	5月生誕祝(渡部)。純日本風素人料理が有志で作らる。	
24	土曜コクテルパーティ始まる。(隊長公室7月12日まで)	
25	フンク放射計修理(気象)	
26	とっつき岬海水厚35~43cm。10居ファーネス故障でいぶされる。	
27	農民車南極大陸を行く。オイルポンプ(軽油用・屋外)交換	
28	電話連絡(本部)	
29	沈む太陽の撮影者多し。測量実習始まる。	

5月	記事						予 メ モ ド
30	太陽最後の日。バー改装披露。店名(いちまる)きまる。 撞球大会(1位鈴木剛彦) ダーツ大会(1位酒井)						
31	健康診断。S.10 トピックス100号を迎える。						
5月の気象	旬	平均 気温	最高の極(日)	最低の極(日)	瞬間最大風速(日)	雪日数	
	上旬	-9.8	-4.9(5)	-177(9)	44.0(1)	4	↑ C
	中旬	-11.6	-4.7(16)	-19.3(12)	29.0(15)	4	
	下旬	-12.9	-6.1(21)	-20.2(29)	34.0(21)	3	↓ C
6月1	日曜日課で昼間卓球盛ん(娯楽棟)						↑ C
2	語学教養講座始まる。(英語)。みどり池の氷穴あけ。						
3	露語講座始まる。(火・木・土)。5月月報送付。						
4	ミッドウインター祭計画発表。新生氷の厚さ25cm。						
5	内陸班F16へ(5日~6日)。オーロラ観測強化週間始まる。						
6	電話連絡(本部)(11次隊正副隊長松田・川口氏と決まる) 木村徹夜でカメラ修理。						
7	オーストラリアのテレタイプ新聞初受信。						
8	近藤水汲み作業中転倒して足首捻挫。						↑ C
9	気象従来の3日交替制をやめ1週間交替制にする。道路標識用のドラム缶のペンキ塗り。						
10	水汲み中止。						
11	西オングル島故福島氏遺体発見現場参拝。電話連絡(本部) 横川情報(S.10 トピックス)人気あり。(通信専門家会議に河原氏決定)						C
12	KC20-14, 15号車大陸斜面でクレバスに落ちる。						
13	KC20の引揚げ作業。						↓ C
14	露語テストおこなわれる。						
15	父の日祝電1通のみ。オングルカルベン・西オングル島遠足。						
16	(本部総会で11次隊25名正式決定) 酒井きょうで「フランス第一世ひげ」をおとし童顔にかえる。						C
17	ミッドウインター祭のだしもの練習盛ん。						
18	まつり用だぼはぜ釣り。バー市丸(いちまる)ダンスパーティ。						
19	南極大学人事発令。基地通信数最高(59通)						
20	ミッドウインター祭前夜祭。電話連絡(本部) (内地の流行語はスケスケルックとモーレツ)						
21	ミッドウインター祭(茶会・句会・バラエティショウ・ミッドナイトショウ)で一夜大騒ぎ。						
22	ミッドウインター後祭(映画とすし)						

6月	記事	ノード			
23	雑電消費節約協力の要請あり。				
24	ミッドウインター祭参加記念サイン〆切。	↑			
25	強いブリザードでコルゲート通路の荷物落ちる。電話連絡。(家族会出席者25名)				
26	南極大学開講(26日～7月4日)第1日目内陸関係。 瞬間最大風速45.5m/sec	B ↓			
27	6月生誕祝(蜂須賀)				
28	南極大学(超高層)(10次夏隊解散会)				
29	オングルカルペン方面開水面となる。卓球大会(1位設営A組)				
30	南極大学(気象・天文)				
6月の気象	旬 平均気温 最高気温の極(日) 最低気温の極(日) 瞬間最大風速(日) 雪日数				
上旬	-13.0	-8.0(1)	-21.4(5)	33.2(10)	3
中旬	-10.2	-3.6(15)	-17.1(20)	27.4(16)	4
下旬	-11.7	-3.9(26)	-18.7(22)	45.5(26)	8
7月1	底質採取始まる。木村・小倉報道論で徹夜。6月月報送付。				
2	南極大学(機械関係)。電話連絡(本部)				
3	"美香ちゃん"(青木美香後援会誌)創刊号(6月30日付)ようやく配達。				
4	南極大学(医学・医療・通信・建築・報道)				
5	飲料水の塩分濃度高まる。飲料用水山探し。				
6	ハムで内地便り入る(立山・福岡・北海道)。上田キャロムで石渡名人を破る。				
7	KD60初の走行テスト。関きょうから機械のワッヂに入る。 ホセに気球かまれて再観測(気象)。七夕特別映画会。	↑ 0 ↓			
8	氷取りアザラシ・ペンギン組誕生。洗濯・水汲み中止。				
9	みどり池の氷にハッパをかける。内陸旅行用の餅つき。隊長ひげのはし始める。				
10	F16整備隊出発(10日～12日) 氷山から氷をとり飲料水に加える(水2：氷1)。 小元雀界入り。				
11	越冬報告書作成委員決まる。F16組なしのつぶて。写真電送(2枚)				
12	隊長招待土曜コクテルパーティ終る。 塩分濃度下らず本日より飲料水のみ氷をとかして使用(その他はみどり池より給水)				
13	F16までの新ルート図できる。	↑ C ↓			
14	日の出記念サッカー大会(岩島南方海氷上)アザラシ組2-0ペンギン組。 パリ祭・うら盆特別映画。太陽再来の日なるも曇って見えず。(11次隊全員決定)				
15	消防訓練。				
16	F16整備(16日～19日)ホセ同行して帰らず。(アポロ11号衛星打上げ1332GMT)				

7月	記事						チード
17	海水上気象調査始まる。ホセF16より独立で帰る。						
18	49日ぶりに太陽現わる。冷え込む(-29°C)						
19	みどり池水位下がり始める。						C↑
20	給水車ポンプ凍結続く。写真電送(特別)(アポロ11号月面に到着2018 GMT)						↓
21	冷え込みで螢光灯消える。アポロニュース時間外送信(銚子)						
22	低温による被害続出(混合油凍結、気象アンモニア0気圧、食堂暖房機使用できず。) 本年最低気温(-36.2°C)						
23	内陸本旅行用食糧梱包始める。通路各所に雪入る。						A↑
24	今季初のA級ブリザード。食堂石油コンロ使用。(アポロ着水)。 アポロ帰還と水問題解決記念映画。						A↓
25	7月生れ誕生日(近藤)写真電送。ブリザード明け除雪。F0附近の新生氷65cm。						
26	内陸基地懇談会開かる。						
27	渡部持参の晴海出航風景8ミリ映画観賞会。						
28	みどり池水汲み用氷穴ちぢまりホース入り難し。晴海出航以来240日目。						
29	F16のKD60引揚げ作業隊出発(29日~8月1日)。 外泊者11名で映画棧敷に混乱なし。						B↑
30	ブリザードのため水汲み・風呂中止。初の円形夕食。暗室排水管雪つまり凍結。 食堂ファーネス消える。						B↓
31	F16組ブリのため停滯						
7月の気象	旬	平均気温	最高気温の極(日)	最低気温の極(日)	瞬間最大風速(日)	雪日数	
	上旬	-15.7	-11.8(3)	-21.8(10)	26.3(8)	5	
	中旬	-19.0	-9.8(14)	-29.8(18)	22.0(14)	8	
	下旬	-17.8	-9.5(24)	-36.2(22)	44.6(24)	6	
8月1	KD60F0へ廻送。F16組帰投で基地賑う。						
2	床屋大繁昌。越冬報告書委員会活発。7月月報送付。						
3	大陸斜面でスキー行なわれる。						
4	山手倉庫1棟解体。春季精密検診繰り上げ実施(4日~9日)						
5	給水車突如ブレーキ故障。氷片顕微鏡写真撮影会(雪氷) 露語講座本日より1900からに変更。						
6	ガソリン残量少なし(残り17本)電話連絡。						
7	雪氷・気象F16での観測始める。(7日~18日) オメガ岬調査班出発(7日~11日)						B↑

8月	記 事					チ リード
8	電力事情好転。S. 10 トピックス記者増員。水汲み中止。物品リスト作成委員会できる。					B
9	給水車またもブレーキ故障。オメガ岬と交信できず。					↓
10	クレーン車故障。水素発生器故障徹夜で修理。					
11	オメガ岬調査班帰投。					
12	F 16でのゾンデ発信テスト成功。S. 10 トピックス内陸特派員報告第1報。 食卓コの字型。映画長編連続「水戸黄門」始まる。					
13	フィールド調査盛んのため直変更多し。					
14	防火破壊用具に赤ペンキ塗り。F 16への往来はげし。					
15	本年最高のブリ 468 m/sec。外出禁止令である。通信・食堂のファーネス消える。 電話連絡(本部)。終戦記念特別映画会。					A
16	臨時理髪師繁昌。					
17	内陸テスト旅行準備のため、日曜日返上の感あり。					
18	F 16組全員帰投。給水車による水汲みは本日でもって終了。					
19	内陸テスト旅行中の隊長代理に近藤任命。機械洗濯中止。					
20	内陸観測テスト旅行隊 0900 出発。途中雪上車故障で 1200 帰投。鈴木(裕) 1 日で 2 万歩あるく。					
21	内陸テスト旅行隊出発。夕方外出禁止令である。					
22	食堂内の落し物・忘れ物一括処理。本日入浴若い方から。					C
23	S. 10 トピックス社今後の方針について記者会を開く。 再上映希望アンケート配布(オングル劇場)					
24	内陸テスト旅行隊 F 31 で停滯。					
25	内陸テスト旅行隊帰投。臨時風呂日。					
26	F 16 でゾンデ飛揚(気象) バー市丸(いちまる) 盛況。					
27	9居に小さいサイレン設置。帰国の話出始める。					
28	大池調査(ドリル氷にとられる) 8月生れ誕生祝(八木)。					
29	オーストラリアでの購入物資依頼まとめる。写真電送。					C
30	在庫物品リスト調査票配布。					
31	岩石薄片写真撮影会。食堂排水管凍結。雪しんしんと降る(5 cm)。					C

8月 の 気 象	旬	平均 気温	最高気温の極(日)	最低気温の極(日)	瞬間最大風速(日)	雪 日 数
	上旬	-21.5	-10.5 (8)	-28.1 (6)	36.4 (8)	5
	中旬	-23.1	-9.3 (15)	-34.1 (20)	46.8 (15)	6
	下旬	-22.2	-12.4 (21,22)	-32.0 (31)	46.5 (21)	5

9月	記事	アード
1	本日より当直1名制。夜警は機械・気象・通信で行なう。 調理担当隊員も当直に入る。(マクマードでコック急病、飛行機で救出される)。8月月報送付。	↑ C ↓
2	帰国時の旅費について連絡あり。	↑ C ↓
3	F 16ヘドラム缶集積。11名日帰り。電話連絡。	↑ C ↓
4	内陸デボ旅行隊追い出しコンパ。深夜劇場開かる。	↑ C ↓
5	内陸デボ旅行隊出発。(10名)途中深雪にはまり2時間遅れる。9居火災報知器誤動。 吉田眼瞼に裂傷。本日ハブニングデーの感あり。	↑ C ↓
6	太田ご尊父逝去の報入る。太田を励ます会早朝7時まで続く。	↑ C ↓
7	基地開設以来の最低気圧(929.6 mb)なれど風吹かず。スキーホテル熱あがる。	↑ C ↓
8	日刊S.10トピックス200号目。ドリフトかなり成長。 内地で問題になったカゴメトマトジュースは該当品なし。	↑ C ↓
9	隊員写真撮影(電送用)	↑ C ↓
10	底質採取思惑通り進まず。写真電送テスト良好。	↑ C ↓
11	撞球流行のきざし。キャロム道場も衰えず。220日記念映画会。	↑ C ↓
12	9発、暗室雨洩り烈し。写真電送。全体会議で帰国問題正式議題になる。	↑ B ↓
13	9発横のドリフトを利用して私設ブリ観測所できる。映画「失踪」上映中観客殆んど失踪 (オーロラ出現)	↑ B ↓
14	KD 605デボ旅行中駆動軸折損。オーロラ冴え、カメラマン多し。	↑ B ↓
15	コルゲートの霜ゆるみ始める。卓球熱も上る。敬老の日記念映画。	↑ B ↓
16	越冬報告書執筆要項のMKS単位で議論湧く。ブリ研・ペンギン騒動。 食堂への温水パイプ凍結。	↑ B ↓
17	水入れ作業要領よく7分で終る。電話連絡(本部)。 (アルゼンチン通信会議の結果、通信センターはここ当分モーソンときまる)	↑ B ↓
18	デボ旅行隊F 170到着。ラングホブデ調査隊出発(18日~20日) 食堂ファーネス不調(17日~19日)	↑ B ↓
19	ハムナ方面ピクニック(第1班)	↑ C ↓
20	デボ旅行隊F 170出発。ハムナ方面ピクニック(第2班) 夕食前のスキーホテル盛ん。	↑ C ↓
21	7発にて火災報知器作動。(排気熱交換器過熱) 井上氷取り作業中転倒(左足骨折)	↑ C ↓
22	珍しく朝霧かかる。	↑ C ↓
23	オーロラ騒ぎでゾンデ再観測。機械洗濯予定通り実施。	↑ C ↓
24	写真現像盛んとなる。(11次通信隊員銚子にてトレーニング、基地と交信 24日~27日)	↑ C ↓
25	内陸デボ旅行隊帰る。10居ファーネス止まり室温-0.5°で一夜を過す。	↑ C ↓

9月	記事						予
26	全員記念写真(アルバム用) 9月生れ誕生祝(関・上田) 上田雀界初入門。						
27	F。附近のクレバス内の資料集め。8ミリ電球切れる(予備なし)						
28	竹内スキー学校繁昌。						
29	KD 604 基地へ廻送。本年最大の磁気嵐。食堂棟に火災報知器レピーターを設置。						
30	7発冷水用パイプ凍結。映画半分オーロラ半分あな忙し。						
9 月 の 氣 象	旬	平均 気温	最高気温の極(日)	最低気温の極(日)	瞬間最大風速(日)	雪 日 数	
	上旬	-18.6	-6.0 (8)	-27.6 (10)	29.8 (8)	9	
	中旬	-17.4	-6.1 (12)	-27.3 (11)	27.4 (12)	5	
	下旬	-23.5	-14.0 (23)	-32.0 (26)	20.7 (28)	4	
10月 1	越冬報告作成用マニュアル配布。電波状態悪く月例報告送れず。						
2	9発雨もり烈し。(内地では家族会)						B↑
3	白瀬氷河調査隊出発。火災報知器誤動(コンセント抜け), 7発排気熱交換循環水停止。 気温急上昇各所で雨もり、天井の氷落ち烈し。9月月報送付。						↓
4	あざらしネスオイア北岸に12頭あらわる。						
5	ペンギン・あざらし偵察隊出る。あざらし撮影者多数。						
6	スカルブスネス調査隊出発。バード基地よりチェス試合放棄の通知あり。(越冬終了のため)						
7	気温プラスになる。(米国隊夏期オペレーション始まる。女性科学者も参加)						
8	気象特殊ゾンデを1日に3個あげる。記念アルバムの見本作成公示(8日~11日)						
9	スカルブスネス調査班人員交替。						
10	故福島紳隊員の追悼式(福島ケルン)。白瀬氷河調査隊の雪上車クラックにはまる。 オーロラ写真個展(鈴木裕)						C↑
11	白瀬氷河調査隊救援隊 0200~2130 254km 走破して帰る。基地残留者14名。						↓
12	スカーレン調査班ガソリンを請求。写真展の話で始める。						
13	スカーレン班ガソリン補給。"ふじ"と交信。夜久し振りに29人揃う。 井上ギブス交換。石拾い始まる。						D↑
14	外国基地へ第11次隊の紹介通報。山東白菜出荷。洗濯物極めて多し。						
15	KD 603, カブースF 16より基地へ廻送。帰国後の解散会幹書きまる(竹内・増田・八木・沖吉)						
16	来期"ふじ"接岸点附近の海水調査。ペンギン偵察(オングルカルペン方面には未だ見当らず)						
17	現有の可動車輛すべて海上に整列。撮影者多数。						
18	雪上車添乗時の医学テスト。KD 60 基地よりF 0へ。 近藤花壇のパンジー半年振りに花開く。						
19	ミールヌイの気象無線放送受信開始。火災報知器誤動(9居2回)						
20	オーロラ観測終了。沖吉内陸調査旅行用の通信機器整備のためF 0通い。						

10月	記事						チート
21	日射で雪溶け始める。井上杖はずして歩行開始。						
22	バー市丸まつり始まる。(ダンスパーティ、写真展128枚) 本部電話連絡臨時設定。昭和基地全景写真掲額(竹内)						
23	市丸まつり第2日。楠花まつり(くじびきへ当りなし) 撞球1位鈴木(裕)、ダーツ1位吉川、写真1位鈴木(剛)。とっつき岬あざらし観察(第1班)						
24	10月生誕祝(小元・村上)とっつき岬旅行(第2班)						
25	宇宙線中性子ゾンデ飛揚(最終回)内陸調査隊追い出しコンパ。						
26	ペンギン偵察(オングルカルベン)8羽発見うち3羽にバンディング。洋弓道場開かる。 市丸まつり第3日目。内陸調査隊送別マージャン大会(1位酒井)だばはせ釣り大会。						
27	ペンギンバンディングの要領と協力依頼。バー出血サービス。						
28	成層圏昇温始まる。トウヅクかもめ現わる。(11次隊壮行会)						
29	内陸調査旅行の概要説明あり。電話連絡(本部)						
30	ペンギン観察 ルンバ(400) オングルカルベン(36) 見晴らし岩附近(2) 井上ギブスはずし全快。						
31	9居居住者解散会。内陸調査隊への祝電多数。ピール本日でもって終り。10月月報送付。						
10月の気象	旬	平均気温	最高気温の極(日)	最低気温の極(日)	瞬間最大風速(日)	雪日数	
	上旬	-15.3	-5.8(2)	-24.7(8,9)	31.8(2)	6	
	中旬	-14.6	-6.0(20)	-26.5(16)	21.1(18)	4	
	下旬	-8.4	-3.6(24)	-15.5(22)	18.5(21)	3	
11月	内陸調査隊10名出発(1000) F20まで一部見送り。						
1	夕食の席くじびきできめる。露語講座本日より3名となる。						
2	電離層ブラックアウトになる。9居の暖房全面停止。						
3	とうぞくかもめ多数飛来。夕食にだばはせ、かいわり大根など基地産の珍味である。						
4	電子レンジ食堂に入る。久しブリ(0級)						↑C
5	後援会誌“美香ちゃん”第2号発刊。通信状況回復。上田“美香後援会”内陸支部長になる。 電話連絡。(12次隊員の推薦手続き始まる。10次隊全員のトランク極地部に集まる)						
6	来期ふじ接岸点見晴らし岩附近の測深始まる。10居非常階段取付け。 (村越10次副隊長アメリカ南極基地視察のため出發)						↑C
7	食堂棟通路の天蓋はずす。(本部総会でオブザーバー2名正式決定)						
8	ペンギン1羽基地訪問(バンディング)。パンジー食堂サロンへ移される。						
9	ペンギンバンディング(ルンバ島83羽)。みどり池まで除雪作業。魚釣り盛ん。						
10	美しい樹霜。えのきだけ栽培。						
11	見晴らし岩附近の測深あと3か所でモーター故障。						

11月	記事					ブリザード
12	早朝9居の火災報知器誤動作。9居の電源一切を切る。					
13	朝食者2名は本年度最低。					↑ C
14	S Mの修理始まる。オーロラ観測も終り夜食給食者は3名とする(機械1, 気象2) (アポロ12号打上げ)					
15	ペンギンバンディング(ルンパ島)本日で10次越冬隊預り分188羽のバンディングを終る。 (マクマード基地より村越のメッセージ届く)					
16	太田信州そばの手打ち。廃物利用のスキーリフト完成。釣り盛ん。					
17	英会話テキスト作りのタイプ打ち始める。(関・村上)					
18	見晴らし岩附近の測深作業終る。					
19	えのきだけかわいい芽を出す。電話連絡(感度急降下) ソ連機12月上旬氷状偵察する旨電あり。(アポロ12号月へ着陸)					
20	剣道部でき稽古始まる。英会話テキスト申込み多数。					
21	内陸調査隊F240着(72°S)雪どけで各所に雨もり。鈴木(剛)映画館長誕生記念映画会。					
22	S M 10 のさび落し始まる。身体検査。					
23	ルンパ・カルベンのペンギン数読み取りのため写真解析(ルンパ1314羽, カルベン135羽 11月15日撮影)。オングルスキー場賑わいリフト役立つ。					↑ C
24	見晴らし岩より軽油ドラム輸送完了。内陸調査隊E P 磁気儀故障。					
25	7発発電機不調。(11次隊晴海出港, 紅白歌合戦の出場者決まる。アポロ12号太平洋着水)					
26	本格的な雪降り。					
27	水汲み池に水面あらわる。					
28	11月生れ誕生祝(楠・石田・増田・鈴木(剛))。関2日がかりで剣道防具一式をつくる。 11次隊受け入れ態勢整う。					
29	内陸調査隊地吹雪のため行動時間をずらす。通信ケーブル(かけ橋)のもつれ直す。					
30	晴海出航1周年記念野外バーベキュー(ネスオイア北方氷山) 海水サッカー試合(ペンギン組2-0アザラシ組)					
11月の気象	旬	平均気温	最高気温の極(日)	最低気温の極(日)	瞬間最大風速(日)	雪日数
	上旬	-6.8	+2.5 (7)	-17.9 (2)	27.6 (5)	4
	中旬	-6.6	+2.3 (20)	-14.7 (12)	22.5 (12)	5
	下旬	-4.1	+2.4 (23)	-10.9 (29)	29.2 (22)	3
12月	K C 20-11号車修理完了。南極条約締結記念日(1959)11月月報送付。					
2	3/4 ton 給水車のフロントアクセルシャフト支持スタット折損発見さる。 海水便所ほり起し作業。夜半より雪降り出す。					
3	隊長帰国ルートについて説明。雨もり烈し。電話連絡。					↑ C

12月	記 事	ブリ ザード
4	9発南側除雪にブル威力発揮。気象棟前廊下屋根のコーリング。氷山の水取り作業本日にて終了。	
5	3/4 ton 給水車応急修理。徳田基地保管レコードのリスト作る。 (サナエ基地で隊員の死亡事故あり)	
6	ペンギンの足跡研究写真展示(蜂須賀) S M 2台目の修理ほぼ完了。バー3時まで大繁昌。	
7	帰国ルート案提示。最終集結地はハンブルグか。ハム感度悪し。	
8	本日より水汲み再開。3/4 ton 給水車の修理部品フリーマントルまで空輸する旨返電あり。	
9	飯場棟横のドリフト除雪。(モーソン沈黙、送信機室へ浸水)	
10	ウニモグ車整備完了。ソ連機イリューション飛来。	
11	水汲みにウニモグ車使用。ソ連機ミルク・オレンジ・レモンを投下。 電離棟使用分の氷山水取り(トレーラーパドルにはまる)	
12	全体会議で越冬報告・年賀電報・帰国関係の話題が出る。	
13	ソ連機リュツォホルム湾の海水見取図を投下。	
14	内陸調査隊よりF126より以降アイスレーダーエコーなしの報入る。 見晴らし岩までの道路整備除雪。	
15	水汲み池畔の柳末だ芽を吹かず。帰国時必要な装備品請求受け付け。	
16	エアーマン(機械)調整。(ふじフリーマントル出港)	
17	第1ヘリポート整地作業(17日~19日)S.10トピックス300号発刊。	
18	ヘリポート整地作業岩盤多く意外と手間どる。エノキダケ出荷。海水上のパドル成長。	
19	ヘリポート整地作業終了(3日間での発破50発)。	
20	作業棟内整備(機械) 露語講座最終回。	
21	カルベンヘンギン観察(スキー歩行で6名参加) 内陸調査隊やまと山脈を望見す。	
22	基地内清掃週間(22日~27日) 飯場棟内のふとん干し。(ふじ55°S通過)	
23	20時より土産用魚釣り。ふじとの電話交信。	
24	12月生れ誕生祝(竹内)続いてクリスマスパーティ。	
25	屋外大掃除(山側) 蜂須賀ご尊父逝去の報入る。きょうから風呂連日営業。	
26	屋外大掃除(海側) 増田・林西オングル重力測定。海水便所再開さる。	
27	9発への通路整備、7発ロンリューム張り終る。マクマードよりふじ宛氷状について連絡あり。 剣道部納会。居室清掃日。(基地内清掃週間終る)	
28	最後のハム交信不調。海水上もちつきと写真撮影会。VLFアンテナポール倒れる。 (衆議院選挙結果FAXで知る)。	
29	VLFアンテナポール復旧作業。11次隊歓迎用のぼりできる。電離棟用水取り。	
30	ソ連第15次隊成立の報入る。	

12月	記事						ブリザード
3 1	ロケット基地方面の清掃作業。11次隊への申し継ぎ書類リコピーで庶務いそがし。 ホセの後足不調。年越しそばで新年を迎える。						
1 2 月 の 気 象	旬	平均気温	最高気温の極(日)	最低気温の極(日)	瞬間最大風速(日)	雪日数	
	上旬	-1.5	+6.9 (9)	-11.6 (1)	22.7 (3)	4	
	中旬	-1.6	+1.7 (14, 16)	-6.4 (17)	17.5 (11)	3	
1 月 1	下旬	+0.5	+7.9 (29)	-6.9 (28)	20.1 (30)	1	
	新年互礼会。内陸調査隊やまと山脈A群に到着。ゴムボートを浮べハゼ釣り。						
2	ふじよりヘリ第1便来る。10次・11次隊連絡協議会。インフルエンザ予防注射(第1回) 家族の便りに湧く。						
3	クレーン車修理なる。ロケット発射台水盛り、工事にかかる。 第1ヘリポートにタール撒布。12月月報送付。						
4	小便ドラム36本を放棄(ロケット基地西方海中) 帰国個人割当て旅費公示。 "ふじ" ラングホブデ沖にMorganの潮汐計をおろす。						
5	"ふじ" 見晴らし岩に接岸(0950)"ふじ"にて交歓パーティ。雪のため雨もり烈し。						C
6	10次・11次定例打合せ会本日より始まる(1500管制棟、31日まで)						
7	ロケット等の大物輸送終る。11次隊歓迎パーティ。ユニモグ新車取扱い説明会。 電話連絡。水上輸送ほぼ終了。						
8	パスポート等貴重品各人に返す。ふじ電気館より映画案内。						
9	内陸調査隊KC20 14号車やまと山脈で故障。井上・竹内補修部品(ボルト30本)調達のため深夜まで頑張る。インフルエンザ予防注射(第2回目)。シユラトランク内陸班の分を除いて全部基地へ運ぶ。						
10	KD604基地よりふじへ輸送。やまと山脈へKC20の補修部品と手紙を投下。 内陸調査隊KC20 15号車も故障。						
11	ふじ艦長・運用長・飛行長基地訪問。電離棟にて茶会。艦長宿泊。 増田ロケット発射台のレベルとり応援。						
12	午前中に空輸23トンの荷捌き。						
13	ヘリ便・11次隊との打合せ会ともになし。臨時全体会議(越冬報告書について)						
14	最近はリング毎日食卓を賑わす。						C
15	空輸20数便20時まで全員作業。11次隊持参の郵便切手売り出し。 夕食時隊長よりビール寄贈乾盃。						
16	空輸30便19時まで全員作業。130klタンク工事ほぼ完了。						
17	10次隊の氷サンプルをふじへ輸送。通信ITVケーブルひき。 臨時全体会議。						

## 記

## 事

1月						
18	ふじ乗組員の昭和基地見学(180名) 11次隊長・副隊長、ふじ艦長・副長・オブザーバー2名の歓迎晩餐会。副長・オブザーバー2名基地宿泊。					
19	増田重力測定でF0へ。11次隊の食糧空輸。ロケット発射台にランチャーのる。 第5冷凍庫手なおし(ふじ機関科)					
20	観測部門一部引継ぎ始まる。10 kelタンクの泥さらい。 ふじ輸送終了打ち上げ会(総輸送量5668トン)					
21	電離棟リオメーターをたてる。ロケット基地よりの電話気象棟に入る。 第3ヘリポートの土地探し(ふじ)。本部との電話連絡。					
22	ペンギン足環番号(10次越冬中のもの)11次隊へ申し送る。					
23	宇宙線観測用大型気球あげる。11次隊から林・小倉・石田・井上・竹内・関・沖吉・鈴木(剛) 計8名協力依頼あり。その他は1月中に引継ぎを終る。					
24	"ふじ" ラングホブデへ。10次・11次とも荷づくり盛ん。					
25	本日より11次隊5名飯場棟住い。45KVA発電機1機交換。隊長・竹内F0～F16のルート偵察。 基地よりふじへ空輸する荷物 161トン(第1回目)					
26	林Dr. Morgan の手伝いでスカルプスネスへ。内陸調査隊F100 附近で新しいモレーンを発見。 鈴木(裕)赤カブ収穫。45KVA更に1機交換。					
27	11次通信隊員本日より夜勤に入る。					
28	内陸調査隊F25着(隊長・酒井出迎え)内陸調査隊木村記者89日ぶりに基地へ。 気象研究用タワー建つ。					
29	内陸調査隊全員基地帰投。KO20 F16からF0へ廻送。気象水素発生器故障。					
30	内陸調査隊員に庶務連絡。各部門引継ぎ盛ん。					
31	故福島紳隊員慰靈祭。ロケット本体組立調整室に入る。					
1月の気象	旬	平均 気温	最高気温の極(日)	最低気温の極(日)	瞬間最大風速(日)	雪 日 数
	上旬	-2.4	+4.2 (1)	-9.5 (10)	16.8 (3)	6
	中旬	+0.6	+5.7 (17)	-6.5 (11)	19.5 (18)	5
	下旬	-0.9	+5.7 (28)	-8.5 (30)	21.1 (22)	0
2月	居室11次隊に明渡す。定常観測業務本日より11次隊員。					
1	基地残留の7名を残し全員ふじへ移動。郵便局長交替。					
2	艦主催の歓迎会(士官室)。19時より隊公室でNHKテレビ映画「探陥から科学へ」観賞。 1月月報送付。					
3	スカーレン・ラングホブデ・スカルプスネス方面調査旅行打合せ会。					
4	スカーレン方面夏のオペレーション第1陣出発。(7日まで) "ふじ" ラングホブデまで日帰り。					

2月	記事	ブリザード
5	帰国用荷物基地より空輸(18トン)。基地の荷物の大半は“ふじ”に搬入。 ロケット発射予行演習。	
6	悪天のためロケット発射延期。飯場棟炊事用具撤収。10次隊基地残留6名(超高層2, 気象2, 機械1, 建築1)。Dr. Morgan 誕生祝(艦長室) 艦内散髪。	
7	ロケット発射無期限延期のため“ふじ”離岸。野外調査隊第2陣(ラングホブデ方面)出発。	
8	ブリ来襲。艦本日休業。68°49'2S, 38°48'0Eにて停泊。 C	↑ C
9	“ふじ”帰りの水路づくり。在艦者に帰国予定説明(隊長)	↓
10	“ふじ”1125基地に帰る。ロケット(S160 JA1)発射成功。高度876km。 野外調査班全員帰艦。竹内帰艦井上基地へ。	
11	建国記念日で艦休業。楠・小元・Friis 東オングル一周。 ドル・ランドの換金申込み。(初の国産人工衛星あがる)	
12	全体会議(帰国、艦内生活その他庶務連絡)。天候不良のため体験飛行・測地作業中止。	
13	ケープタウンでの物資購入希望まとめる。11次隊支援基地残留者招宴さる。 体験飛行(10次隊13名)。検潮儀設置作業手伝い(増田) 井上帰艦。	
14	11次隊へ10種目のレクリエーションゲーム挑戦するも実現せず。 吉田重力測定再検のため基地泊。鈴木(剛) 帰艦。	
15	艦内ソフトボール大会に出場。3分隊と善戦するも6-4で敗る。 Dr. Morgan の手伝いで浅野・沖吉・上田ラングホブデへ。林帰艦。	
16	お別れに基地訪問する者多し。新島確認飛行(吉田・小元同行) 関帰艦。	
17	ロケット2発目打上げ成功。艦内ソフトボール大会決勝(3分隊優勝) 宇宙線最後の大気球飛揚。“ふじ”1700出港。石田帰艦。	
18	“ふじ”弁天島沖で仮泊。	
19	天候不良でヘリ飛ばず“ふじ”再び昭和基地へ。小倉帰艦。10次全員揃う。 1230基地出港帰国の途につく。 C	C
20	第11次越冬隊成立(楠・井上・吉川・木村基地へ)越冬報告書作成委員会。 ふじ密群氷に突入して難航。10次越冬、11次夏隊合同パーティ。オーロラ出る。	

2月の気象	旬	平均気温	最高気温の極(日)	最低気温の極(日)	瞬間最大風速(日)	雪日数
	上旬	-2.1	+3.2(5)	-7.2(3,4)	22.0(9)	6
	中旬	-4.3	+0.4(15)	-12.4(20)	26.8(14)	9

#### 追加記事

2月 25	ふじ右舷スクリュー破損して最密群氷内にビセットさる。 (68°28'7S, 38°50'8E)
3月 7	オビ号外洋まで救援に現わるも密群氷内に突入せず引揚げる。
14	氷状急変し、ふじ約7連押し流される。(68°26'8S, 38°29'0E)
18	氷状ゆるみふじ自力で外洋まで脱出する(2343LT)。